

コミュニケーションニュース

Communication News

近畿大学校友会 東京支部会報

第12-1号

発行日

平成24年8月14日

支部長／宮川正博 編集・文責／広報委員会 連絡先／〒132-0021 東京都江戸川区中央2-31-10-404（株）正宗設備 TEL.03(3674)2472 FAX.03(3674)2486

ホームページアドレス <http://www.kindai-kouyukai-tokyo.com>

近畿大学校友会東京支部定期総会のご案内

日時 平成24年9月20日（木）午後6時30分～午後9時

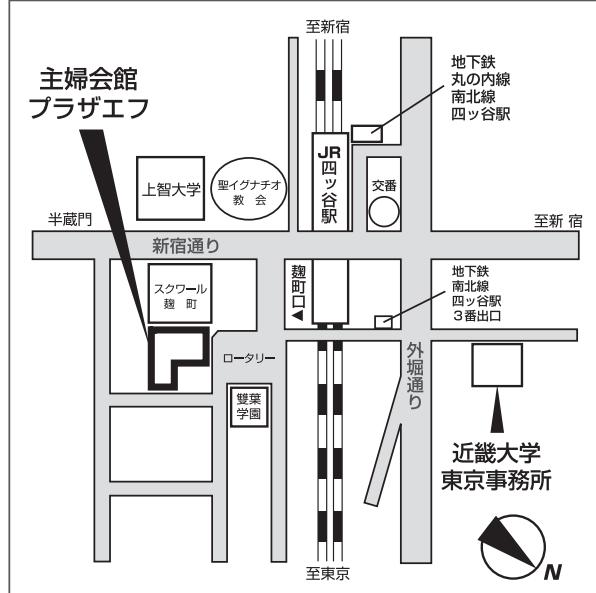
場所 JR四ツ谷駅 麻町口前 主婦会館プラザエフ
千代田区六番町15（7階カトレア）
TEL／03-3265-8111

会費 10,000円（年会費3,000円を含む）

ゲスト 高砂親方、伊勢ヶ濱親方、若松親方（元朝乃若）、宝富士、誉富士

協賛品 校友会東京支部総会、梅友会総会
校友会、梅友会合同懇親会
アトラクション、プレゼント

連絡先 近畿大学校友会東京支部 事務局
TEL 03-3674-2472
FAX 03-3674-2486 幹事長 松元潤一まで



平成23年近畿大学校友会東京支部定期総会に寄せて



近畿大学校友会東京支部
支部長 宮川 正博

校友の皆様、元気でご活躍のことと存じます。混迷する政治、経済の中、いまだに、被災地復興には程遠い感があります。改めて心からお見舞い申しあげます。

この夏はロンドンオリンピックが開催され、校友選手をはじめ日本選手の応援に熱い夏を過ごされたと思います。さて、東京支部が設立され50年が経過しようとしております。長い活動の中やはり最大の懸案事項は支部校友の増員であり、色々な方法を講じて諸先輩方が努力してこられましたが、年々減少の傾向をたどっております。支部単独の増員活動には限界を感じているのが現状です。校友会本部の支援と情報提供をお願いし若い校友の増員を図っていきたいと思っております。まずは9月の東京支部総会には多くの諸先輩、若い校友達が一堂に会して、「人とのつながり」を源に、有意義な楽しい総会にしたいと思っています。

最後になりますが、校友の皆様のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げ、今後とも母校近畿大学の発展と支部活動のご協力をお願い申し上げます。

一木会ゴルフ行事経過と予定

ゴルフコンペは1月に佐倉CC、5月にヌーベルGCで伊勢ヶ濱部屋チャリティーコンペに参加、7月は千葉夷隅GCと米原GCで1泊2日の夏合宿を実施いたしました。

次開催は

真名カントリークラブ	期日 平成24年10月25日（木）
	場所 真名CCつづじコース
	スタート AM 8時35分
	会費 18,000円 (昼食、バー、賞品込み)

次々回の開催

佐倉カントリークラブ	期日 平成25年1月17日（木）
	場所 佐倉CC
	スタート AM 9時ごろ
	会費 15,500円 (昼食、バー、賞品込み)



開催時は事前に中谷幹事からご案内の「はがき」をお出しいたします。

一木会「夏合宿」

昭和 48 年理工学部原子炉工学科卒 富田 久夫

今年の一木会夏合宿は、例年のごとく、2012 年 7 月 19、20 日に千葉夷隅ゴルフクラブと米原ゴルフ俱楽部で開催されました。当方 19 日は、仕事の都合で、伊丹空港から羽田空港に移動し、午後のバスで羽田空港からアクアライン経由で五井まで行き、その後小湊鉄道で、高滝駅に行き、そこで、米原ゴルフ俱楽部の方にピックアップしてもらい、米原ゴルフ俱楽部に到着しました。

五井からの小湊鉄道は、養老渓谷まで 2 両か 1 両の運行で、30 分に一本程度の鉄道です。途中の高滝駅まで 40 分ほどの小旅行で、運賃は 890 円と少し高めでしたが、水田地帯をのんびり走り、私が下車したあとの車両には、乗客が 3 人と車掌と運転手でさみしいもので、運賃が高いのも仕方ないと感じました。

ここで、高滝駅でのピックアップの連絡をしていただきました上手先輩、お手配いただきました平尾社長に御礼申し上げます。

夏合宿一日目は、千葉夷隅ゴルフクラブで開催され、参加者は、10 名でした。

優勝は、佐久間さん、成績は、グロス 96、HDCP22.8、NET73.2 でした。特別賞の DC(恒例の 1 番と 10 番) は、佐久間さん、宮川厚子さん、NP(すべてのショートホール) は、宮川厚子さん、松本さん、田中さんでした。BG は、92 で富樫さん、渡辺紘生さんでした。

一日目の表彰式を兼ねた夕食は、17 時 30 分から米原ゴルフ俱楽部のコンペルームで開始され、お刺身、鮎の塩焼き、ステーキありの豪華版でした。当日の司会役は、プレイをしなかった富田が務めました。まずは、乾杯から始まり、優勝者、特別賞の発表、そして一日目の優勝者の佐久間さんの弁がありました。途中で千葉夷隅ゴルフクラブからの差し入れの焼酎を堪能し、優勝者の佐久間さんは、

その焼酎をたくさん飲んだ結果、二回会は、フラフラでした。

一日目の二回会は、宿泊のロッジに場所を変えて、全英オープンゴルフのテレビ観戦でした。石川遼のバットの一打、一打について、ワイワイガヤガヤ、「俺なら外さないなー」とか「俺とおんなじに入った」とか、

みんな一日目のバットを思いながらの談義でした。お酒は、二回会の追加の焼酎の残りと藤井さんからの差し入れの焼酎を飲み、さらに上手先輩の奥さんの手製の 6 年物の梅酒が出され、とても素晴らしい濃厚の味わいのものでした。

夏合宿二日目は、米原ゴルフ俱楽部で開催され、参加者は、11 名でした。

優勝は、富田、成績は、グロス 90、HDCP15.6、NET74.4 でした。特別賞の DC(恒例の 1 番と 10 番) は、二つとも藤井さん、NP(すべてのショートホール) は、藤井さん、富田、佐久間さんでした。二日目は、昨夜の特別ゲストからの差し入れがあり、7 位平尾社長、ブービー田中さんが対象となりました。BG は、藤井さんの 89 でした。

二日の気候は、一日目の熱々の気温から 10 度以上上がり、一日中曇りで、半袖では少し寒さを感じる時もあり、さらに後半ホールは、かなり強い雨に見舞われました。最



▲一木会「夏合宿」記念撮影

後の組は、二日目だけの参加の中谷さん、朝 4 時半自宅出発で、最後は、雨にもあたりお疲れ様でした。

二日目の表彰式を兼ねたパーティは、ワンドリンク（アルコールでもノンアルコールでも OK）付きの料理は、お寿司、炒めもの、最後には、骨付き肉が出ました。二日目も乾杯から始まりましたが、今日は、車で帰る人が大半だったので、アルコールは二人だけで、表彰式は、優勝、特別賞の発表、富田からの優勝の弁と滞りなく終了しました。

今まで名前の載らなかった方々を紹介しますが、二日間共に準優勝だった富樫さん、女性で二日間共に参加していただいた渡辺よしこさん、大変お疲れ様でした。

来年も今年同様に夏合宿を行う予定ですので、今年の参加者はもちろんゴルフに興味のある方々の参加をお願いいたします。

「歴史の街・岩槻ウォーキング」報告書

昭和 47 商学科卒 上田 彰一郎

一 近畿大学校友会東京支部主催で「歴史の街・岩槻ウォーキング」を開催。歴史と桜の風景を楽しみながら、ゆっくり城下町・岩槻を歩きました。

一 開催日時及び場所：平成 24 年 4 月 15 日（日）：さいたま市岩槻区内

一 参加者：宮川正博、奥様、松元潤一、佐久間勝、上手峰幸、丸岡國豊、上田彰一郎の 7 名

一 時間：9 時 30 分東武岩槻駅前～各（寺社）～岩槻城跡～酒屋見学～岩槻駅解散 15 時 30 分

一 その他：ガイドマップ・DVD は参加者に

配布

「歴史の街・岩槻というところ」

城下町である岩槻（さいたま市岩槻区）の歴史を巡る散策が静かな人気を呼んでいるという。本来は、岩槻のガイドを務める方に案内してもらったほうがより楽しませてくれると思いましたが、参加人数の問題で残念し、案内地図を頼りに天気は快晴。桜名所は見ごろ、人形の町・岩槻を校友の方々は笑顔でゆっくり歩きました。

「桜名所の岩槻街道をぶらりぶらり歩きながら」次のようなことを考えていました。

『色（いろ）は匂（にお）へど散（ち）りぬる

をわが世（よ）たれぞ常（つね）ならむ』『有為（ゆうい）の奥山（おくやま）けふ越（こ）えて浅（あさ）き夢見（ゆめみ）じ醉（よ）いもせず』

物事のイロハをわきまえている日本人ならば誰でも知っているこの歌には、ちょっと変なところがあります。真っ先に「花」のことを「色」といって、そんな色などすぐに散って消えてしまうはかないものだと、無いようなものだというのです。本当だろうか？ だいたい身の周りをちょっと見渡せばすぐに分かるように、この世の中の全てのものは、かたちあるものとともにあります。

われわれ日本人は世界最古の象形文字を使って世界最新の科学技術を切り開いてきたのではないか。それなのになぜかたちないものと等しいというのだろうか？さては、すぐはかなく姿を変えては消える野山の雪や月や花のことであって、人間が作ったものではないのだろうか。そんなはずはない。野山を駆け回る馬や鹿と違って、人間は色々な道具で、あったかい服を縫い、栄養のある食物を作り、丈夫な家を建てて安心して生きてきました。大切なものは、はかない雪月花ではなく、しっかりした「かたち」のある衣食住であると思います。それにもかかわらず、かたちをないものと考える日本の文化の、ときにはこっけいでもある矛盾や謎（ミステリアス）。消えることのないかたちを探しに行こうではありませんか。このぶらりぶらりの岩槻街道の先には、まだ何かあるような気がしました。

「岩槻街道」< 岩槻支台と繩文海進が織り成す歴史模様>

大名・国人領主が領地紛争戦を繰り返していた戦国時代、道は武将らの行軍路であり、商人が行き交う流通ルートでもありました。

岩槻街道の場合、江戸幕府は慶長9年（1604）から日本橋を起点に主要五街道（東海道、甲州街道、中山道、奥州街道、日光街道）整備します。その主要街道の一つの「中山道」の支街道で古くは鎌倉街道とよばれ、岩槻城に至る道であることから岩槻街道と呼ばれた。話は江戸時代、將軍が日光東照宮へ

社参する際に利用された街道で日光御成街道とも呼ばれる。

「道案内」

起伏とんだ台地を社参行列が行く。

このコースの全長はおよそ10km、関東ローム層台地の道を旗本、譜代あわせて133,000人がフル軍装で参加した。使われた人足



▲ 岩槻ウォーキングの一コマ

228,000人、使った馬は326,000頭及び費用は、現在の貨幣価値に換算すると200億円前後に相当します。（日光街道の全長は140km）

「道草」（資料館尽くし、買い物尽くし）

岩槻郷土博物館・酒蔵資料館（鈴木酒造）

高砂部屋チャンコ鍋



6月1日（金）に、東京支部恒例の高砂部屋ちゃんこ鍋会を開催しました。

いつもながら、多くのゲストの方々のご参加を賜り賑やかな楽しい会になりました。

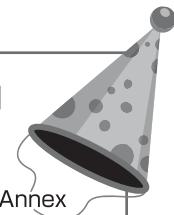
高砂親方、松田マネジャー、若い力士の皆様にお世話になり感謝申し上げます。名古屋場所では、朝天舞、朝弁慶、両君が幕下で勝ち越しを決め、次回東京9月場所では幕下上位での活躍を期待しております。

高砂部屋千秋楽打ち上げパーティーのご案内

日 時 平成24年9月23日（日）午後6時30分

場 所 KFCビル（第一ホテル両国のビル）3階KFCホール Annex
東京都墨田区横綱1-6-1 ☎ 03-5610-580

会 費 お一人様 10,000円



左から朝ノ土佐（あさのとさ）、朝興貴（あさこうき）、佐久間校友、朝弁慶（あさべんけい）、上手校友

近畿大学校友会東京支部への個人協賛

近畿大学校友会東京支部へのご協賛、温かいご支援、ご協力大変ありがとうございました。
今後ともよろしくお願ひいたします。

近畿大学体育会山岳部 OB	株式会社 技覚 専務取締役	株式会社 正栄設備 代表取締役	公益財団法人水交会 近畿大学東京都支部
上手 峰幸	楠 盾司	宮川 正博	西崎 和夫
昭和38年理工学部機械工学科卒	昭和42年工学部経営工学科卒	昭和46年工学部経営工学科卒	昭和58年通法（司）卒

60年ぶりのすばらしい友人と一恵はんとの再会

昭38年機械卒 上手 峰幸

平成24年6月23日、24日に1泊2日の小学校同窓会が徳島県の那賀川の渓谷、四国八十八箇所の22番お札所の、太龍寺の近くの鷺敷温泉で行われた。

1ヶ月位前に大阪の同窓生より、連絡あり、「一恵はんに電話してくれ」の伝言から始まった。

早速、電話すると、「峰幸ちゃんが出席なら、皆集めると」言うことで、人生最後の同窓会が開催される運びとなりました。

家内に車に行くと告げ、長男に話すと、お母さんが、横に乗って行くのならいいが、独りは、あぶないからだめだ、昨年、親の法事で家内と一緒に帰ったのだが、しかし、車でどうしても行くなら、家内、長男夫婦も同行すると言い出し、段々話が大きくなり、車での出席は辞めた。

仕方なく、行きは夜行バス、家内は夜、寝ている間に目的地についている、乗り換え変えもないから便利だと言われば決断、帰りは飛行機にした。

出発は21日、バスは東京駅八重洲南口発（午後9:10）、走り出しそう、リクライニングにしたが、足が上に上がらないので寝にくい。クーラーも利きだし寒い、エンジン音も気になりだした、腰が痛い、眠れない、これなら、自分の車がいい。

徳島市の江川誠司君がホテルで泊るなら、家で泊れと言ってくれ、そうさせてもらった。翌日、朝（6:36）バス停まで向かえに来てくれた。自宅は、バス停より、車で10分、吉野川の近くで、家は大きく涼しかった。奥様が、2階に布団を敷いてあります。と言われたが、せっかくだから、吉野川河口と十番堰を見て、その足で、私の実家に、一緒に行つた。

三日目は、少し徳島市内を見学し、同級生の文子ちゃんを誘いに自宅まで行った。誠ちゃんが若いとき会社帰りに、立ち寄った酒屋です。車中、その主人が昨年、心筋梗塞で亡くなった事、相続の話など、聞かされた。夫は糖尿病でありながら、辛いもの、酒が好きのようであった。

我々の同級生は、総数19

名いたが、2名が若いときなくなり、3名が都合で欠席したが、今回は、遠方の大坂、千葉とあまり、会えない人が皆、顔を合わせた。宴会時、顔会わせは、60年ぶりで子供のとき恥ずかしくて、話もしたことも、なかったが、皆、「ちゃん」呼びをし、話が弾み、なかなか食事に手が届かなかった。

幹事と言うより親分の一恵さんが、芸の衣装を用意し3種類の面白い芸をし、私も調子を合わせ、5時間「はずみ」ました。電話で、一恵さんより、1晩中、話をし「はずもう」と申し合わせていました。

一恵さんは、テニスでノンプロとして、徳島の東レに入社し、後に、自転車屋から、自動車販売会社まで発展させ、息子夫婦に、後を継がせているやり手である。

今は悠々自適で、登山が好きで、信州の山に行っているようで、7月1日も行くようでした。本当に有効に、人生を楽しんでいる。

次の日は、渓谷でそうめんを食べようと、また、一恵さんが食材を準備してきた。外は雨で、仕方なく、会場を、母校小学校の近くの、妙見神社の集会所に移した。



▲小学校の同窓会、後方の木は記念の「くすの木」前列左から二人目筆者（上手）

母校では、昔からある「楠」の前で、わいわい言いながら、写真を全員でとった。

校舎も鉄筋3階立てで、体育館もプールも備え、立派なものに変わっていた。しかし、全校生徒は36人で学級構成は複式学級が2組あるようです。

周辺は、昔より、家は増えていますが、子供の数が少ないのだろう。先々どうなるのだろうと考えてしまう。

やはり、人が増えないと、町は栄えない。

昼食はそうめん、ピラフ、ビール、飲料品、スイカ、お菓子と何でも用意され、「いたれりつくせり」で本当に幸せな同窓会でした。最後の同窓会と言わず、またやろう、と別れ、2日間は、本当に名残惜しかった。

誠ちゃんに、飛行場まで送ってもらい、途中、「竹ちくわ」を、お土産に、買って帰った。

人は、生きていると、さまざま、問題を抱えてきている事も多かった。

元気に小学校の同級生が14人も集まるのは、たいしたものですね。うれしいです。 万歳！

気の良い力持ち

昭和40年機械工卒 田中 宏

大相撲五月場所明けの5月22日（火）に伊勢ヶ浜部屋のチャリティゴルフコンペが、千葉県のスーザンゴルフ倶楽部にて、開催されました。当日はあいにくの雨模様の中でしたが、140名の参加者が集い、熱戦を繰り広げました。近大OB関取の宝富士、誉富士両君も参加しました。宝富士君は上手組にそして初出場の誉富士君は宮川支部長組に組み合わされ、私（田中）は宮川組に入り一日を楽しく過ごしました。

誉富士君は初参加との事なのでどうなる事かと心配ましたが、流石はスポーツマン何球か打っている内に、さまになって来るのには驚きました。支部長が他所で恥を書かないようにとルールとマナーを再三教えていました

が、素直に「ハイ、ハイ」と聞き判らない事は質問を繰り返していました。

もとより初出場なのでミスが多くスコア的にはまとまりませんが、最後まであきらめず努力していましたし、時折目を見張る様なショット、パットもあり将来性を感じさせました。本人曰く「私は、かっこうから入る方なので、まず、そこそこの道具をそろえて練習したい。」と言っておりました。今回は、貸道具だったので次回が楽しみです。

雨で残念ながら、若き良き後輩の素直で気の良いパワフルな誉富士君と楽しくラウンドできた事を報告します。上手先輩に聞くと宝富士君もおなじように素直で気が良いとの事、大学のクラブでの教育と伊勢ヶ浜親方そして

部屋の教育のたまものと思います。

今後の二人の活躍を祈りながら、ご報告のペ็นを置きます。

